

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES藤枝校			
○保護者評価実施期間	令和7年10月11日 ~ 令和7年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達に応じて、「自分で考えて行動をする」ことができることになることを目標に子ども達のサポートを行っていること。	子ども自身が自己決定できるようにサポートを行っている。自分の意見を積極的に発表する機会を設けている。グループワークなども行っている。	職員同士の連携・情報の共有を密にすることや子どもが得なこと・強みを生かし取り組みを考えている。課題に応じたプランを考慮している。
2	子どものありのままを受け入れ、伸び伸びと過ごせるようにしている。家庭的なアットホームな雰囲気。	笑いを取り入れたり、常識にとらわれず、サポートする側もゆとりをもった対応をしている。失敗しても大丈夫だという心持ち。	家庭菜園のように育てている野菜も、人が目を掛け足を運ぶと大きく育つように、子ども達の心も伸び伸びと成長するよう支援の充実を図りたい。
3	できることから少しずつチャレンジしていく、社会性やマナーを身に付けていくこと。	個々の発達に合わせソーシャルトレーニングやお仕事訓練などの取り組みを行っている。	ソーシャルスキルトレーニングや手先の訓練と合わせ、一つずつ訓練の内容を深めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流。	絵画造形展や他の事業所との交流、卒業生などは招いているが、地域住民を招くまでには至っていない。	当年度は、SESカフェを開いた。お迎えに来られた保護者の方に参加をしていただいた。子ども達が練習を積んで、もっと多くの方に参加していただけるよう改善を図りたい。古民家リフォームには、卒業生が参加してくれた。
2			
3			